



事業名	未来を担う子ども・親・そして地域住民と繋がるひろば			関連する ゴール	
KPI	サービス利用者50名～	達成 時期	2月	ターゲット	
取組の概要	<p>・未就園親子のついで 廃棄される予定の枝から自然に還るおもちゃを作りながら、子どもを見守る。乳卵不使用の家庭で子どもと作れるおやつ作り、当園教師が小さなこどものむき合い方過ごし方など伝え、保護者からの質問相談をやりとりし過ごすついでを開催。/てしごとひろば 廃棄される野菜くず（茄子・玉ねぎ）で布を染め、箸袋作り。手縫いを活かしたズボンづくり講座、パステルを使用したアート体験、乳卵不使用、おいしく低炭素、アレルギーフリーおやつなどの講座を開催。/ゆずりはマルシェ エシカルで環境に配慮したおもちゃ、ミツロウラップ、ミツろうそく、ブラフリー歯磨き、木皿、洗剤など紹介。動物性たんぱく質不使用のお菓子なども取扱った。グリーンエネルギーを使用したソーラークッカーのデモ、負担なく環境問題に貢献できる取り組みを紹介。羊毛を使った手仕事やパステルカードのワークショップを行った。/オンラインの子育て講座 シュタイナー園教師が子育て中の保護者対象に一問一答し、事前に悩みや相談を募り答える形で開催。/まなびのひろば シュタイナー教師や、音楽家で植物、食、リメイクなどの本を出版している卒園児保護者を招き、講演会を行った。</p>				
取組の ポイント	<p>コロナ禍により集う場所が減ってしまった親子連れに向けて、親子の居場所、おやこのついでや子連れで参加することが難しい手仕事講座を積極的に行った。市民や、普段園に訪れる機会の少ない方でも参加できるマルシェでは法人が取り組んでいるエシカルで持続可能な取り組みを紹介した。</p>				
来年度以降 のビジョン・ 取組予定	<p>今年度オンラインや未就園親子の居場所のおやこのついで、今まで利用してこなかった新たな広告媒体など試すことができた。来年度は今回活動を踏まえ広報活動を工夫し、活動内容を精査し見直す。またターゲットを絞り、必要な方に届くようにしていきたい。多くのボランティアやサポーターを集めて活動を発展、展開していきたい。</p>				
他の主体 との連携	<p>NPO法人 umiのいえ/共育ち ひなた</p>				



健康から環境まで幅広いサステナビリティについて啓発した事例です。多くの活動展開お疲れ様です。また、コロナ禍でも、徹底対策を行い、工夫して集まれたことに頭下がります。

今年度は会員への啓発側面を優先され、講座や集いがメインだったかと思われませんが、貴団体自体の環境負荷や職員の健康など本軸の部分でのSDGs取組も検討頂けると、啓発が実体を通じたものとなり、さらに素晴らしいアクションとなるでしょう。

ヨコハマSDGsデザインセンター  
コーディネーター  
鳥海 彩

